

平成30年度 納税表彰式等

11月12日、中野サンプラザにおいて、平成30年度の納税表彰式が行なわれました。法人会の活動を通じ、その功績により小田署長より、署長表彰・署長感謝状が手渡されました。当会女性部会員の井元喜代枝様も署長表彰を授与されました。



式辞：小田署長様

又、川村洋治様が酒類業組合法65周年感謝状を受彰されました。

11月6日(火)KKRホテル東京において、大月浩司郎(当会・副会長)様が東京国税局長表彰を受彰されました。又、涌井友子様は局長表彰、(株)丸井グループ様は、局長感謝状を受彰されました。



大月浩司郎様



横川忠重様



川村能正様



鈴木浩司様

《中野税務署長表彰》

横川 忠重様 (理事・第2副支部長)



11月12日 中野税務署長表彰

《中野税務署長感謝状》

川村 能正様 (常任理事・第8支部長)

鈴木 浩司様 (常任理事・第10支部長)



11月12日 中野税務署長感謝状

“税の作文コンクール” 入賞作品

公益社団法人 中野法人会会長賞

【お金より命】

中野区立第四中学校 長沖 萌々

「おじいちゃん、大丈夫？」私は駆け寄った。「うん。」と返事をした次の瞬間、おじいちゃんは倒れた。すぐに母を呼び、救急車を呼んでもらった。



“表彰式(12月10日 於：区役所内)”

救急車がサイレンを鳴らし、走らせて来た。おじいちゃんは、すぐに運ばれた。私は一緒に救急車に乗り、病院へ向かった。

突然のことで私と母はパニックになっていた。そんな私たちに主治医の先生方が丁寧に病状を説明してくださった。また、医療給付制度という申請手続きを勧めてくださった。私はあまり理解ができなかったが、おじいちゃんの体の中を調べる検査や治療などに、数十万円から数百万円の費用がかかるということを母から聞いた。しかし、先生が勧めてくださった給付制度というものを申請すれば医療費の負担を軽減してくれるというのだ。給付制度を利用し、その後おじいちゃんは

今でも元気にくらしている。

私は疑問に思った。給付制度の費用は、どこから出ているのだろうと。母に聞いてみると、その費用は税金から出されていると知った。驚いた。皆が一生懸命働いて納めてくれている税金を使わせていただいているなんて。大好きなおじいちゃんを助けてくれた感謝の気持ちと申し訳ない気持ちで胸がいっぱいになった。私は、病気で苦しんでいるのみ高い費用のために治療ができなかったり、その家庭が崩れていってしまうことは、あってはならないと思う。

このようなことが起こらないために今、私たちができることは何だろう？と考えた時にやはり税金を納めることだと考えた。私も税金を支払うのは嫌だなと思ったことがある。しかし、今回私たちが給付制度を使い、命を救ってくれた事実がある。このことを私は世の中に伝え続けていきたいと思う。

税金をマイナスイメージからプラスイメージへ意識を変えていく、それこそが今、私にできる唯一の使命だと思う。